

東北地方太平洋沖地震により
被害を受けられた皆様に、
謹んでお見舞いを申し上げます。

エコチル調査サポーターの皆様に
メールマガジン創刊準備第4号を配信させていただきます。
今後とも「エコチル調査」のサポートを宜しく願います。



■ エコチル調査とは

平成23年1月から、10万組の親子に協力していただき、
赤ちゃんがお腹の中にいるときから13歳になるまで、
子どもの健康を追跡する調査です。
環境が子どもの発育に影響を与える原因を明らかにするために、
環境省・国立環境研究所・国立成育医療研究センターと
全国15地域のユニットセンター（大学病院など）を
中心とした医療機関が協力して行います。

環境省からのお知らせ 2011.3.24

1. 東北地方太平洋沖地震を受けて
2. 第2回エコチル調査企画評価委員会の中止について
3. モバイルサイトの更新について

1. 東北地方太平洋沖地震を受けて

この度の大地震により、エコチル調査におきましても、
一部の調査地域が大きな被害を受けました。
まず、被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

大きな被害を受けられた地域では、
調査そのものが続けられるかを含め、
大幅な見直しが必要になると考えられます。
被災地の周辺地域や遠く離れた地域でも、
エコチル調査にご協力いただいている医療関係者には、
まずは医療サービスの維持と被災地の支援を
第一優先として取り組んでいただくよう、事務局からお願いしております。

一方で、今回の震災によって、
エコチル調査を実施する意義がいささかなりとも失われるものではありません。
次の世代の子どもたちが健やかに生活できる環境を残すために、
この大きなプロジェクトを成し遂げていくことが私達の使命であると考え、
関係者一同取り組んでおります。

一日も早い震災からの復興を祈念いたします。

2. 第2回エコチル調査企画評価委員会の中止について

平成23年3月31日（木）に開催を予定しておりました
第2回エコチル調査企画評価委員会は、
震災により開催が困難となりましたので、
大変申し訳ありませんが中止とさせていただきます。
すでに傍聴申込みいただいた皆様には、
重ねてお詫び申し上げます。

<http://www.env.go.jp/>

トップページ「平成23年東北地方太平洋沖地震への対応」から
「会議・行事の中止等のお知らせ」をご覧ください。

3. モバイルサイトの更新について

携帯版エコチル調査ホームページは

充実の内容でアップします！（4月上旬予定）

<http://www.env.go.jp/k/chemi/ceh/>

（主な内容）

1. エコチル調査とは
2. なぜ必要なのか
3. 調査の概要
4. 全国の拠点
5. 国内外の取り組み
6. Q & A
7. エコチル調査サポーター登録
（携帯からもサポーター登録ができるようになります。）

雑誌掲載

◆Biophoria 春号 no. 25（3月1日発売／株アドスリー）

ーエコチル調査第3回

なぜ子どもへの環境影響が重要なのか？

エコチル調査の科学的背景 ーp. 59

（国立成育医療研究センター研究所 藤原武男）

◆初めてのたまごクラブ 2011 年春号

（3月15日発売／株ベネッセコーポレーション）

ー子どもたちは あしたの地球を生きていく

エコチル調査についてーp. 167

環境省環境保健部環境リスク評価室

エコチル調査担当

ECO-CHILD@env.go.jp
